

3 子どもの読書活動の推進と支援

- (1) 市町村立図書館等職員、学校関係者、ボランティア等を対象に研修を行う。

市町村立図書館等職員をはじめ、学校関係者、ボランティア等、県内の子どもの読書活動に携わる人たちが共に学びあう研修会を行います。また、希望があれば、各市町村の計画する児童サービス関係研修会の講師派遣も行います。

- (2) 市町村立図書館等職員を対象に、児童サービスのあり方や運営のあり方の相談に応じる。

市町村立図書館等職員を中心に、児童サービスのあり方や具体的な運営についての相談に応じます。

- (3) 市町村立図書館等職員の研究学習の場を提供するため、研究資料を充実させる。

児童図書研究室では、児童資料および児童サービスに関する様々な研究資料の収集の充実を図り、関係者の研究学習の場を提供します。

- (4) 市町村立図書館との相互連携を図り、学校図書館活動を側面より支援する。

市町村図書館等との相互連携を図りながら、学校図書館活動に対して、資料の援助や情報の提供等、いろいろな側面から支援します。

- (5) 「おはなしかい」の開催や幼稚園、小・中・高校生の図書館見学」等において、子どもの読書習慣の形成を支援する。

こどものへやでは、児童への直接サービスを行います。「おはなしかい」の開催や「図書館見学」の対応等を通して、乳幼児から小学生、中学・高校生まで、すべての子どもたちの読書習慣の形成を支援します。



<ちいさなおはなしかい>

4 情報発信活動の充実

- (1) ユニバーサルデザインに配慮したホームページを作成し、最新の情報を発信する。

見やすく、わかりやすく、利用しやすいホームページを目指します。

また、「お知らせや」、「県内図書館関係イベント情報」で、図書館や読書活動に関する情報を提供するとともに、県立図書館発行の広報物等の随時掲載、県内の図書館関係団体向けの情報提供を行います。

(2) 「福島県郷土資料情報」や、図書館報「あづま」、県立図書館だより、児童図書研究室ニュース等を発行する。

各種情報誌を定期的に発行することによって、ホームページにアクセスすることのできない利用者に対して、継続的な情報提供を行います。



<児童図書研究室ニュース>

(3) 展示コーナーにおいて、定期的に県立図書館の所蔵する貴重資料等を展示する。

県立図書館入口左側の展示コーナーにおいて、約3ヶ月ごとにテーマに沿った資料の展示を行います。



平成17年度展示ラインナップ

野口英世展

平成17年4月12日(火)～6月1日(水)

子どもの科学読み物展

平成17年6月3日(金)～8月31日(水)

戦後60年ベストセラ展

平成17年9月2日(金)～12月27日(火)

ふくしまの名歌巡り展

平成18年1月6日(金)～3月31日(金)



<展示「野口英世展」>

(4) 利用案内等を作成し、配布する。

「利用案内」や「福島県立図書館図書館要覧」、「福島県立図書館の概要」等を作成し、福島県立図書館への理解に努めます。



<福島県立図書館要覧>